増派企圖悉く失敗

シャル、戦前の軍備強化、露

志願せざる者は休學 重點產業 大野學務局長、學徒、父兄に檄 へ徴用動員

内地學徒は現役に○○萬人

半島の入營資格者五千名

ついてはこの

郷は幽殿され黒鷺を吐き過ぎした

1

面の 和をい言思談したとなっられる

れたい言思識したと概へられる

ばカルカツタ市長は四日英語ジョ

・ジ六世に弱しベンゴール州の

四日同語。カルカツタ米電によれ

調査圏を要請 ンプールカルカツタで 「イスタ

議制 四日夕刊 国 監視と観 へ返班』の記録中、編成閣大路の 帯 『明』は「後』の美術ごり、等れ 心「で山田小だ」をす

は薬店へ 頼心ます! 簡単に御渕カ

アム

代表ワンワイタヤコン酸下。

畏し 優渥なる御言葉

谷代表に謁見仰付らる

會議事務局を構成

计數機擊退

ペスト 本地。 おが海軍職職職を収に置ちて、 本地。 おが海軍職職職を収に置ちて 全国では、「東西大学館方面のQ基地画図) 一部、 表演の開始に対する間の運動は引 の記す、「日夕後 「東西では、「日夕後 と、より深度にかけて一回にわたって、シンソリ B24 影響機・佐四製がセン これを選撃し、空戦のへら撃破撃 ついで二日朝にはアラブラ湯ア

の参考を失したものが出来をおお、このもの父兄に對して「医院」の教育をというないが、このはいいまれており、このはいことのないが、うな木人を割してしたのないが、うな木人を割してしたの父兄に對していたが、うな木人を割してしたの父兄に對していたが、

一般的る大學期門恩夜の昼生月徒一千名

との短い期間に関節で徹底して意識をもが内地から既に一千数百名の岩が聞って

ましとが最も大事である

師の若さ女性の座右に敢へて斃む 一方來編道の鑑鑑と仰れる皇國女性 四十六名の生涯を蒐録を清楼花の 無四十六名の生涯を蒐録を清楼花の 無四十六名の生涯を寛録を清楼花の 無四十六名の生涯を寛景を明れる皇國女性 無四十六名の生涯を寛景を明れる皇國女性 無四十六名の生涯を寛景を明れる皇國女性 無四十六名の生涯を寛景を明れる皇國女性 はているのまた。 皇國女性の鑑潔を記る

こて、レンかりした趣味の下に取って、心との歌は本人の原來に取ってはの歌、女官職をも何ずることによる、この際元分

務御奉公の機會を失するといったのにあに折角よい門が拓か

四日の繰上閣議で再檢討

回收能力强度發揮

故纖維統制要綱改正

國民兵器讀本國防と電氣通信

書店に街往文乞よ

東京・神田

とき

大印に帰り道圏に三州食糧部長を一

場がよりに変している。 11月號 | 朝鮮版 | 價54(編2)

ることの

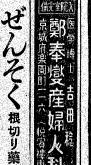
空の訓練と朝鮮 ・ 機関所網達課員 市原博士を悼む ・ 協定がお 大井英雄 自然利徳ス門 ・ 日朝 戰車特輯 各國新錠戰車 尾之上大佐 對 戰 車 火 器 。 對来 申 佐 戰 車 地 雷 北村兵协少佐

北行兵役少佐 戦率はどとでも定れるか 藤原兵牧中尉 米摩新寡兵の戦率操縦訓練 加 議 藤 男

機動艇の話 機等は健棄子だ 敵米國の機甲兵器 特殊 教 車 女川兵技中殿 取車の未変 作内準線時 大・大の車・全中帝 車 山中峯太

工 對派車砲の装載式來引 來の作り方。登響式衛 情 僧婢の作り方。 短篇小說、牧 童 山本和夫 山中峯太郎

振荡/八七三八**閣**





廢廳關係委員任命

非常増産の優良者選拔

医学博士 白川 魔 宗教元司一丁目一〇八 《元•平周医院 排》 最級者即④1151



管理米よりの糠

移轉先京城府中區古市町十二番地(京城驛前)

昭和十八年十一月五日

謹告

移

轉

告仕候 蜂祉昭和十八年十一 月五日左記ノ住所へ移轉致候ニ付此段母

のませ、四、二、四、五十銭 原薬組済運営の場所の経験 のは、二、四、五十銭 日の 利 三七四頁

8 競車 5

内地取引員半減

社秋春

出る日野吸音合える然とするを設めていると思うという。

(賣發旬上月二十)

古林實行著(新元山唯十四號) てを続る

島町数都京東 一ノ二町学門

支給を迅速

重ねて奮起を熱望す

いまを最高潮に沸りに沸る半島のれた臨時特別志願兵制の光榮把握

る威激の會合が四日午後四時から京城 和信六階會議室で開かれ、けふで半島 壯途へ、强い愛情籠る指導方策を打

在城有志が學徒指導に奮起

烈々の熱魂

共

愈々

H

公六時半

京城府民

館大講堂

こから腕はれたのでもなく、中一を整導するが、この一大國民運動

は芯原兵服券締切りが廿日に迫つ

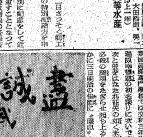
地區別に實行委員派遣



出學 陣徒 にの

東、高女では手つ取り早く私選の

またも血書志願











爱物 はつて勝省させたが、平山老人 が観響に山里一種物屋に至つた 整面はかうだ を使べてますく〜場を火火にされ駅間のために働いて下さい。 で取った間では「やあ有難い・ よく的ねてくれた」と観覧に勢

遞信局愛國班員に呼びかく

空容器の

一日から石油統制が實施

一門知せしめ は兄のる方 は云る二日 は云る二日 んに整上げたいと心に固く驚つ てゐたが、四日突如期れてこの 即ひが叶へられたもの 老人ながら人情に密小概のこと き、この山果を是非とも総督さ



製造が来だうつすらと 製造師して間ない小概 製造師して間ない小概 と関うである四日

催主 毎日新 日

報 報

接後

力朝鮮 離 督 曜

城職業紹介所

散し副作用なし 酸痛の症狀を消 り

防空暗幕 本網地に特殊加工 暗幕設備の 設計製圖施工は 傳統。技術を誇る 花村防空設備研究所



【薩軍】▲百三十五國院城旅館 ・ 「兵」 金 · 養太夫 大會

パピリオクレ

1 L お肌の爲に

に選成するものと黎州されてあるれば本月中には全敗趙快出も見事 加へてゐるが現在既に開當全數量 本社寄託献金

ものはありません 働く姿より美しい

耳鼻咽喉科 医学博士 京城公平町三六

学に卵 司職務選新十八名の増員を行った。 国職務選新十八名の増員を行った。 「も報」を目指し配偶性ある督職の指軍を「私は」に供出調整股盟二百七十萬万突破 神花の供出(砂里房)風

の令弟も志願

睛れの壯行會

護司嘱託增員 配野所で少年審判所保 京城少年

1

は時局下者少田神寒解成の重要出

【仁州】毎早朝望つて何の淄暦を

子供愛國班

投炭錬成會

の機関主任語に取扱者約三十名を第一部級所に府内の會社、工場等

昨年より三倍増産

京畿灣の海苔頗る良好

十一機・徳積が十棚で水揚線が高 羅羅妖滅は昨年と戦べて相當良 押し寄せる献金

が開催し続き、極端的自己を指す 酒密造者を一

壽ぎ奉る明治節

奉祝歌唱大會賑

秋耕を督勵

注射の日程 (25) 湯附近)で軍事大学院



音樂 木男 樂學 大

and the second s

が影 書ス

學 富 新 | 館 花 液 |





帝國水產統制

京城計理事務 引**拢荷造** 興亞計

半北公日 本ニュ

富石 本語の女士

坂 術 民族ス 株館文他未外借情 一部行則其資

社 名 學 更 讓 告 新社名森 宋文食 福工 業株 式 會 形 簡此名 森 宋文食 福工 業株 式 會 形 舊此名 森 永 製 菓 株 式 會 形 舊此名 森 永 製 菓 株 式 會 形 體帝國銀行 電郎 社 祗

| 大学 | 1 日本 |

命物が一表る廿

協力を要望

街の

清潔明朗

折良く通りかいつを帆船高木丸船 相基さん外三名

武勳水へに輝く 派出版では、奪い 人命救助者と 【仁国】 激烈極まる南北戦終 を待ち避けてゐる郷軍仁財職

野

松次郎(繪) 十三億

政岩村上等兵、嚴肅に町森

最多無差別のもとに供式によ

献納の

日婦會員が慰問衣に更生 長袖活用

【素砂】連では織力運動の徹底を 總力運動講習會

浦、江華各郡の邑直總力事務個原 の路蒙、決議が

死ぬ嬉しさ 萬歳唱へて

俳句研究會例會

齊国、體聯、紫山、泰山、巴山

宮氏を彼め光堂、労川、魚沢、職

金屬の供

物資の公配にこの構

毎月組長集めて適正を評議

とり、各組長は衝長に、研長

火 が 日本 の 日本 の 日本 ロ コ ロ の 日本 ロ コ コ

城 駅 裏 林町六一

富石 元 元油 ま士きの 四十寶 城 製

日二四日より十二の十二の十二 京丨

朝鮮唱劇風公演明鮮唱劇風公演開新唱劇團 茶花 紅 連 傳 名が利への輸入します。 場劇一第一場劇陸大一

劇團

場劇。日只一劇

スタルは「大田・東京」と、「大田・東京」」と、「大田・東京」と、「大田・東京」と、「大田・東京」と、「大田・東京」と、「大田・東京」」と、「大田・東京」、「大田

ランオがいま



劇團事務

日が勝つの記される。 · 哈他

で響ってでひ

學會理事長 徳の特別志 | 第の極端関立版米点を解説して野

まだ今回の志順に當つては、内地、

も販果に偉大なるものがあり大事 能新秩序の 建設の 着々進み取さに

く戦局は非常に重大である、しか

赤誠に燃え立つて、そして子供を あるところの父兄一同が、愛國の 學生を内地に送ってゐる有識者で

て長として、起つことになるので

と考へる、優生諸君が本営に

殿が乾く人、頭が常に重く鈍痛を異が詰る人、年中製汁が出る人、

〇手軽に治したい方へ

ー必ず頭が悪い

強える人、物の香ひの郷らぬ人、

年である今回朝戦の墓廷が殷の御

問題にほかならないのである。本純東京交流は縦上の虹に縮み異な半島豊市流車の、要するにいり間燃出車に學生自身の問題に止まらず半島人全體の 同時にまた彼らの父兄先輩たちの深い理解と子弟後郷に對する温かい指導が伴はなけ **懇談師の光線をうけたる時配験なる事質を以って署地される、これは墨生自らの問題であるがは来たのである。 勿論これら暴徒たち近世界に憧たる立派なほ説の一員たり得るかどうかは剛**

うち特別志願を爲し得る

等于发中岛第四郎大佐 明大游松下金雄大佐 明治大屬紀

松下金雄大佐、私生三年

中島第四郎大佐

一個に松下大佐殿のお

を三地版において突破した国領明

局別は四日後東部戦闘の赤河がへ

消

赤軍、獨軍陣地突破

のパデウア市で一投獄さ

るが私は他の戦員と認識してまる

男の悪い

お前は不孝者だ

人の基準と同様に、学場の指手の

島學徒

使の龍の御橋となって年務に限し

名譽燦たる動員令

信念を整く持つて第一級の格長とるので、既民は本質に即争业形の 同様の気持をもつて各々での職場

ぬすることを 戦迎すべきで

半島人全體の問題なり

蹶起ゼ よ半島學徒 麗

米、西に不當壓迫

■は、「は・」ととして、こと、ことも、「となっている」と言葉のもれた。までは、古のないのでは、日本などはつじまないでは、世界のでは、日本などは、日本などは、日本などは、日本などは、日本などは、日本など

三國の参加を
は日家自年の親養願保より脱さ起

大信念は火 と燃え 戦争の眞因を究明

製抗事の助長とアジャにおける

れて「田蔵の解放はアジャの解放

したのち孫文の大アジャ主義に

は単質欧洲における階國家の

開放に對する努力に深く敬意を

彼らの職争自的を剔抉して

堂に滿つ嚴肅な氣魄 魔れて大東型の民族性を喪失せ

意を重ねて玻速してな なる精神の下堂々の論旨を開陳したことは中和實際での他の特別な國際意識さるひは國際際盟などのほかには全く ものゝ地形をも受けざる自由なる發言の機會を得た大型の機能の代表はこの機能 どのおうで行ばれた。「獨立國の最高責任者がかくも多数一堂に含して共同の理想について、これた。。 五日年前中原職院終護儀職権。中職に呉正安院をの撃敵、多く帰代送フンワイ前れた郷の滅賊がそれた。終一 戦が目的が都学として東帝民族の解放とその共存

烈々たる愛國の熱情

を五日年前中における空間代表点。現はそれが「約五十分にわたって「鹿しや大の飲食を味べたが、まづ」る暖暖が渡の棚立台東京和の保一を通りであるが、その後しの観覚。されたものであるとも明かにされ、しなければなりが、「東京休息」大東連を誘導。日と「保御程、中間に家在台板団長の城」各自の立場より最繁なが、「東京休息」大東連を誘導し、「東京休息」大東連を誘導し、「東京休息」大東連を誘導し、「東京休息」大東連を誘導し、「東京休息」、「東京休息」、「東京休息」、「東京休息」、「東京休息」、「東京休息」、「東京

壯絶なる體質り

無動共衆に近く現在の世界情勢を同一集職後の観異を收めたことは、も 観響性戦一戦 震波の観異なり 東 **株 首 相 は** 「米炭の世界 を沿びせて幽郷洋戦一戦を養沈。 その巡川観光が建設された。しか 東 **株 首 相 は** 「米炭の世界 を沿びせて幽郷洋戦一戦を養沈。 その巡川観光が建設された。しか が三人間に上限するや常園神田師 (第二度・ 帰る路三度を重調に強しか三人間の 日本の このが 現場につられる (第二年 日本の この 1年 日本の この 1年 日本の 1 海鷲魂の極致を顯示

敵米英略たずんは止まざるのわが 見ても今後一般と職の反攻が激化

撃破、大型巡洋艦一隻、小型輸送船一隻巡洋艦一隻(自爆機の體高りによる)大型輸送船一隻

亞東大

| 世紀
関内各域の 扇力刷 保をいよ

のあるとともに大東「衆と和郷へて廻ち、異館の大 のあるとともに大東「衆と和郷へて廻ち、異館の大

」相携へて起ち、異盟の大翼に

一部原的に飛取し教育文化の参名「明を見た」となり「政治的自由、「政治化了ジャでは政治的に民略」解「犬ブジャ主義は今やすでに光 物序の機構に他ならない。 と所である。と叫んだ、球文の意識、 出版版の水酸化とによる利己 外交的一致文化的問題。互動的

大いで 一方蛇の兵列によりさらに駆が化し る国を説明した。 「一方蛇の兵列によりさらに駆が化し」を国を説明した。 「「一方蛇の兵列によりさらに駆が化し」を国が、「一郎」「一郎」「一郎」「一郎」「一郎」 半島人學徒に告ぐ 志願手續に過誤なきを期すべし 長屋朝鮮軍報道部長談 架光を辿って半島人県徒は散明へ | き情を注ぎ長屋朝鮮軍報道

輝くモノ島戦果温發表

既報『モノ』島上陸點附近の敞艦船に對する攻撃において帝

決勝國民大會

七日、日比谷で開催

不三日同盟」 ニューヨー

せて大東亞の現状を中外に関照して大東西の決定を固からしめ、

されてハドソン河を出た

の一製に火災を生ぜしめ

員等數名投獄

出」ミラノ來能=ゴツタ









可終遊·飲大





して東語解放民衆運動の

内の中省歸 の生學在地

ガみ起つ四十八名

願嘆で書血も又 君浦三の科械機部學工理大城

、神州男子の晴れ姿

起たざる懦夫に未練な

理代長總大城

母の健氣に學徒の決意

軟 況

和

軍

(44) 村松梢鼠

爛(産)

商

ミヘノツソリ い。サツサとい。サツサとい。サツサとい。サツサといる。 最

運稅 荷造 卜 八声至蔣

行つて來た

施工館等工寮佐原御銀生工 新菜館の投房ストーブ代用

鏡 (內報送出)

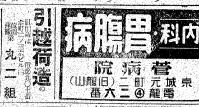






公社債 株式 賣買,引受募集

文 九二 組 算清 物實 證 別原



て居るふ

温度 医音

















